



2008 ~ 2009 年度
R I テーマ

Make Dreams Real
夢をかたちに

国際ロータリー会長 李 東 建 (国籍・韓国)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ トキハ別府店 7F ぼたんの間
TEL 23-1111
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail: info@beppu4rc.jp

理事	平野英壽	理事	赤嶺リサ	役員	会 長	平野英壽	S A A	森 宗明
"	近藤賢司	"	高宮勝美		副会長	近藤賢司		直前会長 森 宗明
"	大島由美子	"	鳴海淳郎		幹 事	亀井 孝		
"	村津忠久				会 計	河村貴雄		

VOL. 21 - 17
2008年11月4日

第 934 回 例 会

会報委員長 森 宗明

- ◆点 鐘 12:30
- ◆体 操 自律神経強化体操
- ◆国 歌 君ヶ代
- ◆R S 奉仕の理想
- ◆唱 歌 もみじ
- ◆B. G. M 「宗次郎ころのうた」より
「いちご白書」をもう一度
遠い世界に
風

◆出席報告 委員長 中島 澄人

本日の出席	出席者	出席率
会員総数	23名	
出席者	15名	
事前メイクアップ	1名	
理事会承認	0名	
出席免除	0名	
欠席数	8名	
出席率	65.22%	
前々回の訂正	出席率 69.59%	
10/21	事後メイクアップ 4名	
	理事会承認 0名	
	出席免除 0名	
	修正出席率 91.30%	
	連続 一回	
	通算 731回 100%	

会長の時間 会長 平野 英壽

今日は先週の職場例会でちょっとお話しした、逆境の力と言いますか、リスクの力の話をしてみたいと思います。

カボチャというのは、カボチャ作りに名人なしという言葉が昔からあるくらいでして、苗を地面に植えて適当に育てれば、どんなバカがやっても三つや四つはカボチャの実がなるものと言われております。ところが、このカボチャを農業の名人が一生懸命研究して、もっとたくさんのカボチャをならそうとして、いろいろな肥料をやったりしても、やっぱり一定の数の実しかならない。とても不思議な植物なのです。

ところが、ここに本当のカボチャ作りの名人というのがいまして、一本のつるから十個以上の大きなカボチャの実をならせる人がいます。それでは、どうすればそういうカボチャを作ることができるかというと、これが不思議なんです。カボチャが伸びて二メートルくらいのつるになった時に、根もとをもってひっこ抜くというのです。

このひっこ抜くにもコツがありまして、ぐっとひっぱったときに、中の根がプツプツと二、三か所くらい切れたところでやめるのだそうです。ひっぱりすぎはカボチャが死んでしまいますからいけません。このプツプツと少しだけ切るところが大事なんです。二か所か三か所切ってや

・メイクアップ

事前
事後 溝部、亀井、高田、大野(ソフトボール大会)
欠席 赤嶺、椋田、河村、溝部、中尾、森園、大野

めると、なんと次々に花が咲いて十個以上の実がなるのです。それで肥料や水をきちんとやると、実も大きなものができるのだそうです。

今から旬の果物、柿の実にもこういう話があります。

カキ作りの名人がいます。この名人が育てるとカキの実が鈴なりになる。それも毎年なる。じゃどうやってやっているのかといいますと、この人がカキの木を最初に植えるときに、穴をほったら肥料をたくさん入れて、その上になんと、こわれた古



い瓦をたくさん敷くのです。そしてその上にカキの木をのせて、土をかけてやるのです。こうすると、ものすごい数のカキが実をつけるのだそうです。

どうしてかと聞きましたら、このカキ作りの名人も理由はわからないというのです。そして、とんでもない、いい加減なことを言いました。「瓦にはカワラ酸という肥料が含まれていて、それがカキをならせるもとになっているんですよ」。そうではないでしょう。カキの木が瓦の下に肥料があるということを知ると、なんとかそこに行って養分をとろうと、瓦のすきまから死にものぐるいで根をはっていくのです。そうするとだんだん根も強く、太くなってそれが肥料に到達すると、根と同様に幹も太くなり、非常に気が、精力が充実するのです。

海の生もの・ナマコのこう言った話もあります。漁師によれば、海の沖合で捕ったナマコを生きたまま港に持ち帰ろうとして、港に着いた時には皆死んでいることが多いという。

そこで、ナマコを入れた水槽にナマコの天敵であるカニを入れる。すると、ナマコは臨戦態勢に入る。その緊張感がナマコの生命力を上げるので、生きたまま港まで持ち帰ることができる。

我々は逆境のなかにおかれた瞬間、気は増大するというホメオスターシスの力（元に戻ろうとする力）をもっています。言い換えれば、気を湧きたたせるには、逆境の力、リスクの力が大切だということです。

我々はリスクのない世界に住んだ時に、生命体の気は衰え、気枯れかが始まります。トーマス・カールという哲学者がこういうことを言っています。

「逆境というものはときどき人々にとって非常に苛酷なものである。しかしある人にとっては順境というものはその百倍も苛酷なものである」

これを簡単に言うと、逆境に耐えうる人はいるけれども、順境に耐えうる人はいないということです。リスクのない仕事をしていると人は墮落するというのは、墮落はつまり気枯れだからです。

- 11月2日(日)8:30～別府もみじ谷に於いて「もみじ谷奉仕作業」を行いました。参加会員の皆様、ご協力ありがとうございました。また、外部より陸上自衛隊別府駐屯地曹友会・池永会長代理以下30名、コーラスグループ7名の参加協力がありました。

参加者：平野英壽会長、近藤賢司副会長、亀井孝幹事、村津忠久、鳴海淳郎、大野誠(代理 白石氏)、高田由子、吉弘晃 各会員 寺西氏、柚野氏(平野工務店) 合計47名

- 本日、例会終了後、13:40～「第5回定例理事・役員会」を開催致します。
- お祝い
 会員誕生日 森園伸也会員 (11月8日)
 ※記念品をお渡し致します。
 結婚記念日 溝部 仁会員 (11月10日)
 ※ご自宅にお花が届きます。
- 例会場変更のお知らせ
 R I 第2720地区中津平成ロータリークラブは、11月6日(木)例会日より例会場をグランプラザ中津ホテルに変更しますのでお知らせ致します。(旧例会場：中津オリエンタルホテル)
- 例会変更のお知らせ
 宇佐RC 11月6日(木)の例会は、職場訪問例会の為、同日12:30～(株)長浦製網所に場所変更
- 次週の予定
 「税務行政の課題への主な取り組み状況について」別府税務署 署長 上園 博幸氏
 「会員コラム」村津忠久会員
- 本日の配布
 ①週報 No.933
 ②ガバナー月信 No.5
 ③ロータリーの友 11月号
 ④ロータリー探究：『「ロータリー基本知識」について』

鳴海淳郎R情報委員長より

幹事報告 幹事 亀井 孝
 —ロータリー財団月間—

…本日は「100万ドルの食事」を実施します。会員皆様のご協力をお願い致します。…

- 本日の卓話
 『R財団に因んで』高宮勝美会員
- 10月30日(木)18:30～東京一うどんに於いて、歴代会長・幹事会及び第3回創立20周年実行委員会が開催されました。
 出席者：平野英壽、鳴海淳郎、村津忠久、梅津ヤヨイ、河村貴雄、椛田健治、後藤隆、木村きぬゑ、近藤賢司、森宗明、亀井孝 各会員
- 委員会報告
 ・社会奉仕委員会 村津忠久社会奉仕委員長

スマイルボックス 委員長 後藤 隆

- 平野会長
 今日R財団月間です。みなさん、特によろしく。
 高宮会員、卓話よろしく。
- 村津会員
 「別府中央ロータリークラブ創立20周年記念式典と記念演奏会」は、来年3月29日(日)に行われます。その記念演奏会に取り組む市民合唱協会の会議が、昨夜、中央公民館に於いて開かれ、愈々スタートを切りました。
 成功を祈念してスマイル。
- 大島会員
 一カ月分の例会出席です。
 「職業活動表彰職場例会」ではご迷惑をおかけいたしました。



○高宮会員

ロータリー財団委員長として本日卓話になっていますが、全く勉強不足で困っています。とにかく100ドル献金をお願いします。

○衛藤会員

通学路樟脳もなつかし冬衣
学生も冬服になり、いよいよ冬ですね。
今日の高宮会員の卓話、楽しみにしています。

○高田会員

先日のもみじ谷初参加しました。お天気も良く久々に森林浴しました。少しですが、自分が手をかけると大きく育ってほしいと思いました。又参加します。

○吉弘会員

11月2日の日曜日、もみじ谷奉仕作業に二度目の参加を致しました。

色づき始めた木々に囲まれ、マイナスイオンを全身に感じながらの作業。身も心も洗われた思いです。

村津さん、お世話になりました。ありがとうございました。

○森会員

隆ちゃんにひと口。

○赤嶺会員

平野会長・近藤副会長・大島会員、高田会員、亀井幹事、先日は、ちはらチャリティーゴルフ大会ご参加ありがとうございました。

おかげさまで427,085円を栄光園に寄付することができ、心より感謝いたします。ゴルフコンペには110名様参加いただき、亀井幹事が優勝いたしました。中央ロータリークラブの誇りです！！

皆様本当にありがとうございました。

追伸 結果報告と賞品は後日お渡し、ご報告いたします。

社会奉仕委員会報告 委員長 村津 忠久

平成2年の11月から、わがクラブの「クラブ創立記念事業」に関連して始められた「もみじ谷の奉仕作業」は19年継続して行われています。

年間3回、3月・7月・11月に実施していますが、秋の恒例作業を11月2日(日)に実行致しました。

当日朝、8時25分より準備体操。気温・19℃、薄曇り微風で、絶好の作業日和でした。

参加者は、平野会長、近藤副会長、亀井幹事、鳴海会員、大野会員(代理・白石氏)、高田会員、吉弘会員と私、そして、平野工務店の寺西・柚野両氏が毎回と同じく御参加下さいました。

曹友会は池永会長代理他30名、コーラスグループ7名で、計47名で作業実施、来年3月15日の植樹準備を主として予定通り完了。最後に全員で、「里の秋」と「紅葉」を気持ち良く高唱して終わりました。



卓 話



ロータリー財団委員長の高宮勝美です。

私を財団委員長に任命した平野会長に心より敬服致します。

理由として、平野会長は財団の必要性を常に語り、本年、本会が20周年記念に当たり会長として全員の財団100ドル献金に情熱を燃やし、

全員参加を念頭に置かれていましたが、入会以来一度も財団に寄付のない私を委員長にする事により、私が財団の勉強をし、ロータリーを理解する事で念願の100ドル献金全員参加が達成されるであろうとお考えになった人事だったのではないのでしょうか。

高宮 勝美

私も財団担当になり、ロータリー情報の鳴海委員長のロータリー探求、ホームページを拝見し、国際ロータリー世界本部(2008年6月30日現在)ロータリー財団最新資料及び地区ロータリー財団興津委員長のホームページを拝読する事によって私達ロータリアンの使命を勉強し、身の引き締まる思いでした。

主な財団の使命は次の通りですが、私の言葉だけでは足りない部分が多々ありますので、鳴海ロータリー情報委員長にお助け頂き、ご説明致します。

ロータリー探求

ロータリー財団の使命とプログラム

ロータリー財団は1917年、アーチ・クラフPRI会長の絶えざる熱意により基金として発足した非営利財団法人で、1928年ミネアポリス国際大会に



において「ロータリー財団」と名付けられました。

現在、ロータリー財団はロータリアンをはじめ、よりよい世界を築こうというビジョンを共有する財団支援者の方々からの自発的な寄付によって支えられています。

この程、2007年規定審議会で、国際ロータリー理事会から改めて次のようなロータリー財団の使命、標語、優先事項に関する決議が提出され、採択されました。

ロータリー財団の使命

ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界平和、親善、平和を達成できるようにすること。

標語

「世界でよいことをしよう (Doing good in the world)」…アーチ・クランフがロータリー財団設立のとき述べた言葉

ロータリー財団のプログラム

財団の補助金とプログラムを通じて、ロータリアンや支援者の人々は、世界をより良い場所に変わっています。ロータリアンは、補助金とプログラムを活用することによって、第一目標であるポリオの撲滅をはじめ、世界中でのロータリーの人道的使命に力を注ぐことができます。

1. ポリオ・プラス (Polio Plus)

ロータリアンは、ポリオ撲滅のために何十万という人々を動員し、活動を続けています。1985年のポリオ・プラス・プログラム発足以来、20億以上の子供たちに経口ポリオ・ワクチンを接種してきました。

- ・ポリオ・プラス補助金：主に、国別のポリオ・プラス委員長や、主要な協同組織（世界保健機関、ユニセフなど）が申請する補助金。
- ・ポリオ・プラス・パートナー補助金：ポリオ常在国で行われる社会動員や監視活動のために、ロータリアンが用途を指定して寄付することができる補助金。

2. 人道的プログラム (Humanitarian Program)

- ・災害復興：ロータリアンが特定の災害に対して、義捐金を寄付するためのプログラム。
- ・地区補助金：地区が地元や海外で行う奉仕活動を支援するもの。

- ・保健、飢餓追放および人間性尊重補助金：人々の健康状態の改善、飢餓の緩和、人間性の尊重を推進する2年から4年にわたる大規模なプロジェクトに資金を提供するもの。

- ・マッチング・グラント：ロータリー・クラブと地区の国際奉仕プロジェクトに対する組み合わせ補助金（寄付に対して、同額または一定率額が財団から組み合わせで支給されるもの）

- ・ボランティア奉仕活動補助金：地域社会で必要とされているプロジェクトを計画したり、重要な奉仕活動を行ったりするために、資格あるロータリアンとその配偶者が海外に渡航する費用を援助するもの。

3. 教育的プログラム (Educational Program)

- ・国際親善奨学金：財団が提供する世界で最も規模の大きい国際的な奨学金プログラム。

- ・研究グループ交換 (GSE)：対になった2つのロータリー地区に授与され、多種多様な職業に従事するロータリアン以外の人々からなるチームを海外に派遣するため、その旅費に充てられる。

- ・ロータリー平和および紛争解決研究プログラム：世界中の専門職業人に、紛争解決と調停手段に関する研修を受ける機会を提供するもの。

- ・ロータリー世界平和フェローシップ：毎年60名までのフェローが奨学金を受領し、6つの平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センターの1つで、修士課程の研究にあたる。

- ・大学教員のための補助金：3ヵ月から10ヵ月間、発展途上国で教鞭を執る大学教員に授与されるもの。

以上になります。皆さん、今年中の100ドル献金への参加を是非お願いします。



※鳴海会員が米山奨学会について補足されました

会員コラム

溝部 仁

「蟪かニシカ」

宇佐八幡宮の最も重要な祭祀に、放生会というものがある。隼人の霊の鎮魂を祈念して「ニナ」をまく。この貝が、「カワニナ」か「蟪」か「ニシ」かわからない。わかったとしてもこの小さな貝が、なぜ、隼人の霊なのか、今日まで、誰も納得出来る説を述べた者はいない。

ところで、「蟪」の腸は、黒いために、万葉集に女性の「黒髪」にかかる枕詞（三首ある）というのをご存知だろうか。まったく私は、このよう

なことを調べるまで、知らなかった。驚くべき枕詞ではなからうか。

インターネットで調べると、大分県では「ニナ（カワニナ）も分けている。」と「ニシ」を分けている、とあった。ますます混乱してきた。

会員の皆様、カワニナ（蛭が卵を産む）の昔話や「ニナ」の昔話を知っていたら、教えて！。また、違う名前があったら、教えて！。

今回は、村津忠久会員です。